

第7回香南市学校等の規模適正化等基本計画検討会議 議事録

日時：令和8年1月23日（金）10：00～11：00

場所：香南市役所 604・605 会議室

出席：教育長、教育次長、学校教育課長、こども課長、生涯学習課長、防災対策課長、企画財政課長、地域支援課長（課長補佐代理）、香我美支所長、赤岡支所長、夜須支所長、吉川支所長、農林水産課長、建設課長、契約管財課長、赤岡小学校長、野市中学校長、事務局2名

○議題（1）これまでの取組について

【説明：事務局】

平成29年6月に「香南市学校等の規模適正化等検討委員会条例」を制定し、検討委員会での議論を重ね、令和2年3月に「香南市学校等の規模適正化等について」（答申）が示された。その後、検討会議を設置し、令和5年10月に「香南市学校等の規模適正化等基本方針」を策定した。また、策定後は基本方針について学校関係機関等や地区への説明会を開催し、令和6年4月から6月にかけては、基本方針についての意見徴収（アンケート実施）を行った。

令和6年11月の第6回検討会議において、保護者及び地域住民に示す再編パターンと説明会の日程について協議を行なったが、市長協議を経て、今すぐに再編案を示すのではなく、来年度からの防災対策課の取り組み状況を踏まえて、より慎重に時間を掛けてしっかりと進めるよう規模適正化の取り組みの一旦見直しを決定し、令和7年1月号の広報で市民の皆さんに周知を行った。

今年度は、7月に児童・生徒を対象にアンケート調査を実施。現在、その集計と分析を行っている。

【協議内容】

- ・学校教育課長の時に検討会に参加して資料2の作成に関わった。途中で止まった理由の1つはコロナで会を開き話し合いをすることでなかった。もう1つは、学校で授業をするときに大きな学校に子どもたちを集めるのか、いくつかの学校の広いスペースに少人数の方が良いのではとの議論があった。コロナがいつ終わるか一過性のものなのか分からなかったし、年度の始まりを変える話もあった。集約すること自体を見直ししなれないといけないようなときだった。それもあって立ち止まった。コロナが収束してきてコロナ以前の状況に戻っていく見通しが持てるようになって規模適正化が事務局内で話題になるようになってきて空白時間ができた。
- ・5つのパターンを市民に示してどこに課題があるかなどアンケートや話し合いをしながら進めようとしていたが、ぶつかったのが財政面。市民に示すときに将来的にできないものは出せない。財政的に難しく止まっている。
- ・令和5年度の市民への説明会のときに想定していたよりも厳しく反対する意見が上がってきてこのまま進めていくのが難しかった。

- ・子どもや市民からなるだけ広く意見を拾っていくことをやっていきたい。個別の話合いも必要になってくる。

○議題（２）～（５）について

【説明：事務局】

- （２）香南市学校等の規模適正化にかかる再編パターン案（令和６年１２月）について
- （３）規模適正化等の取り組みの見直しについて（令和７年１月）…広報資料
- （４）香南市学校等の規模適正化等基本方針概要版（令和７年３月）について
- （５）今年度の取り組み

上記の議題について、一括して説明。主に資料の説明を行う。

【協議内容】

質疑なし

○議題（６）今後の取り組みについて

【説明：事務局】

規模適正化の取り組みの見直しにあたっては、防災計画づくりを進める過程において、香南市事前復興まちづくり計画策定事業の取り組みと共有を図りながら進めていくことが大事ということで、香南市事前復興まちづくり計画の取り組みについて説明を求めたい。

【説明：防災対策課】

令和５年度から取組をしており市内プロジェクトチームは関係する課の係長・補佐クラスのメンバーで構成し勉強会を始め女川町に視察を行った。

令和７年度は基本計画を策定する。3,000人を抽出及びWEBで自由に回答する方を対象にアンケート実施。被災後にどう考えているのか。事前復興の言葉を知ってもらうことの２点の目的で行った。現在中学生にもアンケートをとるようにしている。また、宿毛市へ視察訪問を実施した。宿毛市は事前復興と学校規模を切り離して進めている。

令和８年度は吉川町。令和９年度は赤岡町で旧町ごとにワークショップを行い旧町ごとに事前復興計画を作ろうとしたが、プロジェクトチームの中から旧町ごとではなく、市全体で事前復興を考えるべきではないかの意見があったので、香南市全体で令和８年度に２回、令和９年度に１回予定している。状況に応じてワークショップの回数が増える可能性もある。令和９年度末に計画を仕上げたい。

令和８年度を取組として、５月３０日に女川町長に復興の話と高知大学の原先生に事前復興計画の必要性について話していただき香南市からこれからの計画について説明するセミナーを計画している。

【協議内容】

- ・時間設定を決めておくことが必要。それに対して財政を蓄えておくことなどが必要。都市

マスタープランに位置付けるなど大きい計画とリンクしておかないといけない。

- ・香我美おれんじ保育所と香我美幼稚園の令和9年4月の認定こども園化を検討している。それに向けて令和8年度に建物の改修を行う。

行政改革集中プランに保育所の民間活力の導入が示されている。1月29日に推進会議が開かれるが野市地区の保育所の民営化を進めていくことと、野市幼稚園を認定こども園化する集中プランが出される予定である。

- ・アンケート調査で子ども向けでは、今の学校環境などがアンケートの中心項目となっている。教職員向けには、規模適正化についてどう考えるのかが追加されており、南海トラフを踏まえた規模適正化をするべきではないかの意見があったと思う。子ども向けで学校の安全安心のアンケート項目は当初あったのか、意図して除けたのか。
- ・本当は聞きたかったが、どのような知識を持っているかで答えが変わる。子どもが正しい情報をもとにアンケートを答えれるかどうか気になった。勉強した後に聞かないと違う数値が出てきそうで躊躇した。